

市民と高松市議会議員との意見交換会

日時：令和3年11月17日（水） 午後1時30分～午後3時

会場：高松市防災合同庁舎 3階 301・302 会議室

【午後1時30分】

議会運営委員会の 中村秀三副委員長の司会で、市民と高松市議会議員との意見交換会を開会いたしました。

開会に当たっては、十川信孝議長が挨拶をして、次に、議会運営委員会の小比賀勝博委員長が意見交換会の進め方等を説明しました。

その後、4グループに分かれて、テーマごとに意見交換をするため、会場内で席を移動しました。

市民の皆様には、それぞれ、興味のあるテーマのグループに入ってもらいました。



【午後1時40分～】

市議会の常任委員会ごとのグループに分かれ、各常任委員会が調査・研究しているテーマについて、市民の皆様と意見交換を行いました。

グループ1（総務常任委員会）

テーマは、「自治会加入率向上を目指して」

まず、辻正彦副委員長からテーマの概要を説明し、橋本浩之委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

市民の皆様からは、「自治会の役割をしたくない人が多い」や「大学生はそもそも自治会を知らない」

「メリットがなければ若い人は入らない」など、率直な意見が出されたほか、「スマホを使って自治会に入れるようにしては」や「そもそも、自治会加入は

メリットデメリットの話ではない」「必要なものであることを伝えることで加入者が増えるのではないか」などの提言もいただきました。



グループ2（教育民生常任委員会）

テーマは、「認知症の人とその家族を地域で支えていくために」

まず、斉藤修副委員長からテーマの概要を説明し、田井久留美委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

市民の皆様からは、「男性の介護従事者の認知症カフェ等への参加者を増やすことが課題」や「高齢者が気軽に出かけられる場所が必要」などの意見のほか、「地域で徘徊高齢者への声掛け訓練を行っている」など、参加者の地域での取り組み事例等もご紹介いただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

テーマは、「プラスチックごみから、きれいな海と生き物を守るために」

まず、住谷篤志副委員長からテーマの概要を説明し、坂下且人委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

市民の皆様からは、リサイクルを進めるために、「レジ袋返却に対するポイント制の導入」や「住民の意識を高める広報強化」などの御意見をいただいたほか、ごみを減らすために、「スーパー等での肉や野菜の包装を減らす」や、「ペットボトルを減らすため、マイボトルに給水する機械を導入する」などの提案をいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

テーマは、「消防団への加入促進と取り巻く環境の向上について」

まず、山下誠副委員長からテーマの概要を説明し、香川洋二委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

実際に消防団に加入されている方も参加されており、市民の皆様からは、消防団への印象として、「若者の団員が少ない」や「活動内容が危険なイメージがあるため、家族の理解が必要」「団活動がそもそも知られていない」などの率直な意見が出されたほか、

「消防団入団のメリットが必要」「中型免許がなくても運転できる車両の配備」や、「防災意識の醸成を図ることで、消防団の加入率が高まるのではないか」など、さまざまな意見・提言をいただきました。



た。

【午後2時45分】

再度、301会議室の元の場所に集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表した後、藤原正雄副議長からお礼の挨拶をして、意見交換会を終了しました。

実施したアンケートでは、市民の皆様から、「いろいろな方の意見が聞けて参考になった」や「貴重な体験をさせてもらった」との感想のほか、「今後も市民の意見を取り上げる機会を設けてほしい」や「地域のリーダー役をお願いします」などの御要望もいただき、とても有意義な意見交換会となりました。

御参加いただきました市民の皆様、本当にありがとうございました。

